



「第3回 (仮称) マンガの聖地としまミュージアム展示・建築設計検討会議」の報告

平成29年10月16日、豊島区役所において、第3回(仮称)マンガの聖地としまミュージアム展示・建築設計検討会議が開催されました。高野区長ほか、里中満智子座長をはじめとした委員17名が参加しました。



議事

(1) 建築基本設計

事務局より、第2回検討会議での指摘事項に対する検討結果を報告するとともに、それを反映した建築基本設計図を提示し、説明を行った。

- ① 玄関の開閉機構については、外観の再現性、博物館としての施設機能の確保、来館者の利用し易さを総合的に勘案し、再現した玄関扉の内側に自動ドアを設置する。
- ② 建物内の階段は、建築基準法上の階段として求められる性能を備えるため、段数を増やすとともに、当時は付けられていなかった手すりを設置する。手すりは、再現空間になじむデザインとする。
- ③ 玄関の再現に不可欠な段差を避けるため、車椅子の来館者用のスロープと出入口を建物東側に設け入館してもらう。さらに、スロープのはじまりと東出入口にインターフォンを設け、施設スタッフによる対応を行う。
- ④ 外階段周辺は開放し、屋外展示空間としても活用する。
- ⑤ 収蔵庫前室は、資料整理作業や資料の特別閲覧に対応できるよう、Wi-Fi環境や机を配置する。荷解き・休憩室では、資料搬入・借用資料の梱包材の保管、施設スタッフの飲食・休憩・ミーティングのほか、研究図書の配架、調査・研究や展示準備作業の場としても利用する。

主な意見

- ・安全対策としてサインや消火器など当時はなかったものの設置が義務づけられることがある。安全を第一としながらも、できる限り当時の雰囲気近づける必要がある。
- ・館内で一般利用者は靴を脱いで見学しているが、車椅子での利用方法について検討すべき。
- ・公園全体の利用や整備のあり方について、地域住民への説明を丁寧に行う必要がある。

高野区長 挨拶

2019年の東アジア文化都市の開催を豊島区が獲得したのは、まさにマンガとアニメが最大限の高い評価を受けたからで、全国に発信できるこの計画があったからこそであります。

この地域は、南長崎1丁目から6丁目全体でまちづくりをしていこうという地元の機運があります。私はいつも夢を追いながら行政を進めておりますけれども、この施設ができて、あの街並みがマンガとアニメと楽しくにこやかな人で賑わっているということをよく考えます。そういうまちづくりをぜひ成功させていきたいと思っております。皆様のご尽力により、私が描いていた夢の完成イメージが着々と出来上がってきておりまして、非常に嬉しく、感動しております。

2020年3月のオープンに向けて、今後のストーリーを考えて、この事業を皆様と力を合わせて作り上げていきたいと思っております。

(2) 展示設計の基本方針

事務局より、企画展示室の整備方法について説明を行った。

- ① 1階の他のスペースとは切り離して、貴重な資料を展示するために必要なセキュリティや空調環境を高いレベルで実現する。
- ② 可動間仕切りを設置し、展示壁の拡張や部屋の柔軟な利用に寄与する。
- ③ エアタイト型ウォールケース・覗きケース、大型ディスプレイ等を設け、所蔵資料の展示や企画展示に活用する。

主な意見

- ・このトキワ荘再現のプロセスの展示をしてもらいたい。苦労して作り上げた今までの積み重ねについて、再現模型や再現のための調査資料等も交えて、常設展示の内容に加えるべき。
- ・2階の常設展示室の1室を活用し、復刻雑誌を閲覧できる場所を確保してはどうか。
- ・1階の企画展示室の外側の壁等を活用し、当時のマンガ家の生活の様子などの写真をたくさん貼ってはどうか。

(3) 事務局からの案内

事務局より、これからの取り組みについて紹介した。

- ① 再現施設としての壁や瓦の色合いや素材感について、内田委員を中心に検討を進めている。これに加え、当時のトキワ荘の姿を知る地域の皆様にもご参加いただき、壁のサンプルを見ながら調整する場を設ける予定。
- ② 本施設の開館に向けた観光振興策を検討するため、トキワ荘通り沿道の土地や建物の利用状況を確認する調査を10月から進めるので、協力をお願いしたい。